



議案書③

第36回 通常総代会 議案書

第18期役員選任の件

日時: 2025年6月10日 (火) 10:30~13:00

場所: 京成ホテルミラマーレ 6F ローズルーム

pal★system
パルシステム千葉



■第3号議案「第18期役員選任の件」

1. 第17期(2023年6月総代会～2025年総代会)役員(理事・監事)の任期満了により、定款第19条および役員選任規約に基づき、2025年6月10日の第36回通常総代会にて、役員候補者(理事18名、監事5名)を第18期役員として選任することを提案します。

I. 理事候補者 18 名 (定数 18 名)

◆全体区 (7名)

石井 佐知子(再任) 北村 久美子(再任) 酒井 督史(再任) 新村 里志(再任)
高橋 由美子(再任) 津田 しのぶ(再任) 山本 香美(再任)

◆全体区 有識者(3名)

石山 明子(再任) 井上 郷(再任) 今野 遼(新任)

◆地方区 (8名)

北部：石井 眞紀(再任) 鷺沼 恵美子(再任) 神野 和江(再任) 宮本 朱美(再任)
南部：北 きよみ(再任) 北村 理乃(新任) 高崎 麻衣子(再任) 中村 真紀(再任)

II. 監事候補者 5 名 (定数 5 名)

◆全体区 (5名)

猪股 千文(再任) 江尻 康代(新任) 加戸 祐爾(再任)
柴崎 菊恵(再任) 森本 修一(新任)

1. 全体区理事

7名

い し い さ ち こ
石井 佐知子 (1971年生まれ) 再任(現職：業務執行理事)

住所：東京都葛飾区

略歴：1994年 生活協同組合エル(現パルシステム千葉)入協／1997年 生活協同組合エル(現パルシステム千葉) 機関運営グループ／2007年 パルシステム千葉 人事部長／2012年 パルシステム千葉 広報室長／2013年 パルシステム千葉 広報・環境推進室長／2014年 パルシステム千葉 マネジメント推進部長／2015年 パルシステム千葉 企画・広報部長／2017年 パルシステム千葉 機関運営部長／2018年 パルシステム千葉 組織運営本部長／2023年 パルシステム千葉 理事(組織運営担当)／2024年 パルシステム千葉 理事(事業担当)(現在に至る)

抱負：業務執行理事として、1年目は組織運営・組合員活動・産直・広報を、2年目は宅配事業・産直・独自商品の担当を務め、つねに総代や組合員の声を事業・活動の中心にした運営を心がけてまいりました。

総代活動や組合員活動などのさまざまな企画に対していかに参加実感をもっていただけるか、パルシステムのファンを一人でも多く広げていくためにはどうすれば良いかを第一に考え取り組んでまいりました。

また、食品や燃料など、くらしを取り巻くさまざまな物価の高騰が続く中、商品利用を通じて支えていただいている組合員の皆さんへのくらし応援として感謝企画なども実施してまいりました。

引き続き、生協利用を通じてくらしに役立つ生協、生協活動への参加を通じてくらしを豊かに彩る生協であるよう、つねに精進してまいりたいと思います。

組織理念である「心豊かなくらしと共生の社会を創ります」の実現をめざして、今年度もさまざまな取り組みを行ってまいります。組合員の声を聞きながら、組合員や地域の方々と共にくらしやすい社会づくりに向けて推進してまいります。そして職員にとっては働きやすい職場であるよう、引き続き環境整備を進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



推薦理由

配送業務を経験し、その後、組織運営、人事教育、広報、内部統制部門の責任者として幅広い業務経験を積み、2023年度の総代会で理事に選任されました。2023年度は組織運営担当として機関運営、広報、組合員活動、地域コミュニティ活動部門を指揮、2024年度からは事業担当として宅配事業、産直、独自商品部門を指揮してこられました。特に宅配事業では配送の欠員対応として採用・雇用定着対策に取り組み大幅な欠員解消に尽力されました。また自身の経験を踏まえ、女性職員が働きやすい職場環境、管理監督職育成にも積極的に取り組まれてきました。理念やビジョンに対する深い想いと理解、職責への責任感、実直な仕事ぶり等も踏まえ、次期理事候補として推薦いたします。

きたむら くみこ

北村 久美子 (1978 年生まれ) 再任 (現職：くらしの視点を持つ理事)

住所：千葉県千葉市

略歴：2008 年 パルシステム千葉加入／2014 年～2020 年 広報サポーター／2018 年～2020 年 パルママサポーター／2019 年、2021 年 商品モニター／2020 年 商品伝えるサポーター／2022 年 パルシステム千葉 総代／2023 年 パルシステム千葉 理事 (現在に至る)



抱負：理事となり 2 年間、学びを深めていく中で、もはや「異常」という言葉では片付けられない気候変動、それによって引き起こされ頻発する各種災害による農畜水産物への多大な影響、その原因となる温室効果ガス排出等の環境問題、世界中で勃発している内紛や戦争などの地球規模での課題に直面しました。また、貧困の拡大、高齢化のさらなる進行、労働人口の減少なども起こっています。

そのような課題が山積みとなっている中、本来協力しあうべきはずが、人と人とのつながりが希薄になり、匿名性を隠れ蓑に攻撃しあうなど、ややもすると簡単に孤立・対立してしまう世相ですが、「コミュニティ生協」を宣言しているパルシステム千葉は、組合員・生産者・役職員が手を取り合って大きな課題にも小さな問題にも取り組んでおり、改めて生活協同組合としての役割発揮や強みを感じています。それぞれの小さな声にも真摯に向き合う組織運営を目の当たりにし、長く他企業で働いてきた身としては、驚かされることばかりでした。

第 17 期任期中は、千葉県生協連の食品衛生と消費者問題の委員会に出席し、県内の生協間で情報交換をしつつ見識を深めました。また、パルシステム千葉が運営している「コミュニティ活動助成基金」の運営委員を担わせていただきました。

「くらしの視点を持つ理事」として、一組合員・生活者としての視点を忘れず、視座を高く持って、現在と未来の「心豊かなくらしと共生の社会実現」のため、尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

第 17 期から理事として、組合員をはじめ生産者や地域団体など関係者との対話を大切に業務執行状況を丁寧に確認し、理事としての役割を理解してその力を発揮されています。商品・産直政策推進会議では、組合員の声や利用状況、国や千葉県の政策、社会情勢なども踏まえ、パルシステムの商品政策について課題を明確に捉えられています。千葉県生協連の食・消費者委員会では、くらしの視点から率直に意見を述べ、千葉県等のパブリックコメントにも積極的に関わってこられました。それらの経験を踏まえ、次期理事候補として推薦いたします。

さかい ただし

酒井 督史 (1972 年生まれ) 再任 (現職：業務執行理事)

住所：千葉県八千代市

略歴：1998 年 生活協同組合エル (現パルシステム千葉) 入協／2004 年 生活協同組合エル (現パルシステム千葉) 無店舗事業部スタッフ／2005 年 4 生協事業部 (パルシステム東京) 出向／2005 年 12 月 生活協同組合エル (現パルシステム千葉) 千葉センター長／2006 年 生活協同組合エル (現パルシステム千葉) 稲毛センター長／2008 年 パルシステム千葉 市川センター長／2010 年 パルシステム千葉 無店舗事業部次席スタッフ／2010 年 10 月 パルシステム千葉 無店舗事業部課長／2014 年 パルシステム千葉 新規事業推進部課長／2016 年 パルシステム千葉 サービス事業部部長／2018 年 パルシステム千葉 事業本部部長、株式会社パルライン取締役／2019 年 パルシステム千葉 事業本部副本部長／2020 年 パルシステム千葉 管理本部部長／2023 年 パルシステム千葉 理事 (総合福祉担当) (現在に至る)



抱負：業務執行理事として、介護事業、夕食宅配事業、店舗事業、家事支援事業の担当を 2 年間務めてまいりました。日本はこの 10 年で様変わりし、高齢化率は 29.3% に進展し、人口は約 314 万人減少しました。特に働く世代が約 458 万人減少し、医療・介護が必要な世代が約 467 万人増えています。労働者不足で医療・介護の需要に対応できない状況が想定される中、いつまでも健康で自分らしくくらし続けることが求められています。パルシステム千葉が展開する事業間の連携を図り、変化するくらしの視点を大切にパルシステム千葉の総合福祉として、くらしの課題に対応していきます。

また、職員同士のコミュニケーションが広がり、パルシステム千葉で働くことに「やりがい」「働きがい」「成長」を感じることができ、職員がいきいきとしている組織づくりをめざします。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

配送業務をはじめ、センター長、事業部長、家事支援事業部長、事業本部副本部長、管理本部を経験し、2023 年度の総代会で理事に選任されました。第 17 期は総合福祉担当として夕食宅配事業、店舗事業、家事支援事業、介護事業を指揮されてきました。担当するいずれの事業も構造的に収益性が厳しいことから、改めて各事業の目的を踏まえた継続性、発展性の確保の観点から中期方針を策定されました。特に介護事業では深刻な欠員状態の中で利用者へのサービス提供の体制づくり、損益改善に尽力し赤字解消の道筋をつくられました。新規事業の立ち上げを含めたこれまでの幅広い業務経験、職責に対する正しい理解と責任感、現場職員との対話を大切にしたマネジメント等への評価も踏まえ、次期理事候補として推薦いたします。

しんむら さとし

新村 里志 (1964 年生まれ) 再任 (現職: 専務理事)

住所: 千葉県野田市

略歴: 1984 年 柏・市民生活協同組合入協 / 2000 年 生活協同組合エル (現パルシステム千葉) 理事、総務部長 / 2002 年 生活協同組合エル (現パルシステム千葉) 理事、管理本部長 / 2004 年 生活協同組合エル (現パルシステム千葉) 常務理事 (事業担当)、パルシステム生活協同組合連合会 理事 (現在に至る) / 2007 年 パルシステム千葉 常務理事、共同店舗支援本部長 / 2008 年 パルシステム千葉 常務理事 (共同店舗事業担当兼管理担当)、パルシステム東京 理事 / 2011 年 パルシステム千葉 常務理事 (事業担当) / 2013 年 パルシステム共済生活協同組合連合会 理事 (現在に至る) / 2016 年 パルグリーンファーム株式会社 代表取締役 (現在に至る) / 2017 年 パルシステム千葉 専務理事 (現在に至る)、千葉県生活協同組合連合会 理事 / 2021 年 株式会社パルシステム・イースト 取締役 (現在に至る) / 2023 年 千葉県生活協同組合連合会 副会長 (現在に至る)



抱負: 今、私たちの暮らしを取り巻く環境は、物価高が続く大変厳しい状況に置かれています。この物価高の要因は戦争の影響や円安、原油・原材料等の海外依存率の高さ、人手不足、物流費、人件費の上昇などさまざまにあると思います。一方で、人口減少、少子高齢化の進行等、日本の社会構造も大きく変化し、暮らしの課題は多様化・複雑化しています。また気候変動、温暖化の影響による自然災害リスクも年々増大している中で、さまざまな対応が本当に難しい時代になったと認識しています。

こうした中で、パルシステムは「心豊かなくらしと共生の社会を創ります」を理念に、事業と活動をととして食の安全・安心、食料自給率の向上、環境・エネルギー問題、平和・貧困問題、地域コミュニティづくりを重要政策として推進してきました。引き続き、組合員の声をしっかり受け止め事業や活動の充実につなげてまいります。

第 18 期は、深刻な人手不足の中で事業の継続性・発展性を確保していく観点から、採用と雇用定着を経営の最重要課題と位置づけ、健全な事業経営、組織運営にあたります。組合員から負託された職責を全力で果たしていくことを約束します。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

豊富な職員経験、理事経験を有し、パルシステム連合会、パルシステム共済連、パルシステム東京の理事、パルシステム・イースト取締役等を歴任し、また千葉県生協連では副会長として県内生協の連携や発展に尽力されてきました。パルシステム千葉においては業務執行理事、常務理事を経て第 14 期から代表理事専務理事としての職責を担われてきました。業務執行責任者として広範な業務経験に裏付けられたマネジメント力、総合的な判断力、健全経営への強い想いを持って、組合員の声を大切にされた事業・活動を推進されてきました。昨今、人手不足が深刻な中で人材確保や定着に向けた諸施策、労働環境や処遇改善等、大胆な改革もリードし、また障がい者雇用、ユニバーサル就労も積極的に広げ就労者のサポート環境も整備してこられました。将来に向けた人材投資を経営の最重要課題として位置づけられています。これまでの経験および実績を踏まえ、次期理事候補として推薦いたします。

たかはし ゆみこ

高橋 由美子 (1969 年生まれ) 再任 (現職: 理事長)

住所: 千葉県千葉市

略歴: 2004 年 生活協同組合エル (現パルシステム千葉) 加入 / 2007 年 パルシステム千葉 サポーター (機関紙パル・カフェ、地域行事) / 2013 年 パルシステム千葉 理事 / 2019 年 特定非営利活動法人 NPO 支援センターちば 理事 / 2019 年 株式会社パル・ミート 取締役 / 2021 年 株式会社パルシステム・イースト 取締役 / 2023 年 パルシステム千葉 理事長 (現在に至る)、パルシステム生活協同組合連合会 理事 (現在に至る)、千葉県生活協同組合連合会 理事 (現在に至る)



抱負: 2025 年は国連が定めた『国際協同組合同年』、そして「被爆・戦後 80 年」にあたります。生活協同組合は「平和とよりよい生活のために」をスローガンに、組合員の暮らしをよりよくするための事業・活動を行っています。国連は協同組合を高く評価し、SDGs の実現、社会・経済の発展における協同組合の貢献への認知向上を求めています。

パルシステム千葉は、いろんな“わたし”が集まり、個性や多様性を大切にする組織風土が受け継がれています。組合員を中心に役職員・生産者や協力会社・地域組織など、さまざまなステークホルダーと意見を交わしてみると、それぞれの考えがあり、時には意見が対立することもあります。私自身もそのような場を幾度も経験しましたが、お互い敬意をもって向き合い、認め合い、それぞれの長を生かしてパルシステム千葉をつくっています。そのような皆さんとの出会いと協働に心より感謝し、自身の役割に向き合っております。

そのような関わりから生まれたパルシステムの商品やさまざまな取り組みは、暮らしの課題を解決するとともに、その一つひとつが社会に対するメッセージとなり、社会を動かしています。現在の米をめぐる情勢では、日本の食料・農業政策の問題点が噴き出しています。パルシステムの産直の取り組みをさらに社会に発信し、持続可能な食と農業を実現することは私たちの大きなミッションの一つであると考えます。商品を作る人と食べる人の想いをつなぎ、多くの人を巻き込み、より良い食と農の仕組みづくりに挑戦し続けます。

パルシステム千葉の事業・活動の原動力は、組合員一人ひとりの想い、小さな声、小さな行動です。多くの組合員と、パルシステム千葉のさまざまな取り組みをつくっていくように組織運営に尽力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

理事として 5 期 10 年を経験し、第 17 期より理事長として組合員や役職員等一人ひとりの声を大切に、事業と活動の一体化を掲げ組織運営にあたってこられました。千葉県生協連の理事も務め、県内の地域団体等との関係構築にも寄与されています。またパルシステム連合会では理事ならびに平和・地域活動委員会の委員長として、平和や核廃絶、困窮者支援等に取り組む市民団体や NGO との連携を進め、組合員をはじめ市民の社会活動への参加を推進してこられました。これまでの実績・経験を踏まえ、次期理事候補として推薦いたします。

つだ
津田 しのぶ (1966 年生まれ) 再任 (現職: ぐらしの視点を持つ理事・運営担当)

住所: 千葉県船橋市

略歴: 2003年 生活協同組合エル (現パルシステム千葉) 加入 / 2007年 LPA(※) 受講・活動 / 2017年 保育の会において保育活動 / 2018年 パルシステム千葉 総代 / 2019年 パルシステム千葉 理事 (現在に至る) / 2023年 株式会社パルシステム・イースト 取締役 (現在に至る)

※ LPA: ライフプラン・アドバイザーの略。お金やライフプランの専門知識を身につけた組合員。生活のお金にまつわる必要な情報を提供しながら組合員のライフプラン実現のためにお手伝いする講師活動です。



抱負: 第 17 期任期中は、組合員活動・平和・地域連携などの取り組みを担当しました。さまざまな社会的状況の変化に対応するため、これまでのパルシステム千葉の歩みを確認しながら活動の見直しを進めました。

組合員活動においては、現状を把握したうえで会議で話し合い、組合員参加を広げる中期計画を策定しました。

世界の至る所で紛争・戦争があり、脅かされている平和を不安に思う日々です。日本被団協がノーベル平和賞を受賞したことは、これまでの取り組みへの賞賛と世界の不安定な状況を踏まえ、これから生きる私たちへの平和に対するメッセージでもあると思います。国連は 2025 年を 2012 年に続き 2 回目となる「国際協同組合年」と宣言しました。さまざまな分野で貢献している協同組合への期待の高まりであると思っています。

地域の中でも働く外国の方が増えており、多文化共生の必要性をますます感じています。また、地域でのつながりが少なくなり、地域共生社会の重要性が高まっています。そのような中、パルシステム千葉は「コミュニティ生協」としての役割発揮を求められています。

より良いぐらしをめざして、食・環境・平和などのさまざまな課題を組合員の皆さんと共に考え、パルシステム千葉の理念「心豊かなぐらしと共生の社会を創ります」の実現に向けて尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

理事として 3 期 6 年を経験し、地域での社会的活動や、保育等の組合員活動の経験を生かし、機関運営やコミュニティ政策を中心に取組んでこられました。パルシステム連合会の平和・地域活動委員会では、組合員の社会的課題への取り組み参加を広げるための施策を積極的に提案し、グループの活動活性化に寄与されました。また、運営担当理事として、理事会運営会議での議案提案内容や資料の確認、組織内での情報共有等に努め、機関運営に寄与されています。これまでの経験を踏まえ、次期理事候補として推薦いたします。

やまもと かすみ
山本 香美 (1973 年生まれ) 再任 (現職: ぐらしの視点を持つ理事・運営担当)

住所: 千葉県千葉市

略歴: 2013 年 パルシステム千葉加入 / 2016 年 サポーター (地域行事) / 2017 年 パルシステム千葉 総代、サポーター (商品伝える) / 2018 年 サポーター (産直) / 2019 年 パルシステム千葉 理事 (現在に至る) / 2021 年 株式会社パルふれあいサービス 取締役



抱負: 第 17 期任期中は、「商品・産直政策推進会議」の座長としてメンバーと共に、産直の中期的課題を整理し、生産者・組合員・職員が協同の力で進める「パルシステム千葉の推し産直」としてまとめました。今後は、厳しい状況が続く国内自給率や農業に関わる諸課題一つひとつに丁寧に向き合いながら、協同の力で一歩ずつ取り組んでまいります。また、商品委員会では多様な立場からの組合員の声を大切に、ぐらしに寄り添う商品づくりや時代にあったサービスの提案などに努めました。

先行きが不透明な世界情勢や気候変動による異常気象など、将来への不安が増す中、人々の間ではさらなる分断が見え心配です。日本でも人手不足や物価高騰などを受け、私たちのぐらしは年々厳しさを増し、心の余裕を持ちにくくなっていると感じています。しかし、そのような時だからこそ、互いを思いやり立場や意見の違いを認め合うことが大切だと思います。

協同組合は、一人ひとりの主体的な参加を基礎にして、さまざまなぐらし課題に心をあわせ、助け合い取り組んでいます。組合員・職員・パルシステムに関わる一人ひとりが、より良い明日をめざすパル (友達) です。これからもパル (友達) の力を信じ「いろんなわたし」の声に耳を傾けながら、パルシステム千葉の 2030 年ビジョン「つながる力とささえあいの心で笑顔あふれる地域コミュニティをつくります」の実現に向け取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

理事として 3 期 6 年を経験し、総代会準備会議、商品・産直政策推進会議の座長等を務め、機関運営や商品・産直政策の議論を取りまとめられました。特に第 17 期は事業と活動の一体化推進や産直の中期的課題をまとめ、次年度以降の施策具現化に向け準備をすすめてこられました。パルシステム連合会の商品委員会では、副委員長としてグループ全体の商品政策を推進されてきました。また、運営担当理事として、多面的視点で意見を述べ議論の深化を促し、理事会の機能強化に寄与されています。これまでの経験を踏まえ、次期理事候補として推薦いたします。

2. 全体区有識者理事

3名

いしやま あきこ

石山 明子 (1965 年生まれ) 再任 (現職: 有識者理事)

住所: 千葉県市原市 職業: 独立型社会福祉士

略歴: 2002 年 知的障害者施設生活支援員 / 2013 年～2021 年 三幸福祉カレッジ介護講師 / 2016 年 社会福祉士事務所 あした設立 (現在に至る) / 2017 年 パルシステム千葉 有識者理事 (現在に至る) / 2018 年 千葉地方検察庁刑事政策総合支援室 社会福祉アドバイザー (現在に至る)



抱負: 第 14 期から有識者理事として就任させていただく一方、社会福祉士として成年後見人、罪を犯した方に対する福祉支援 (再犯防止における入口支援) に従事しております。ここ数年で、社会情勢、環境は大きく変化しており、それは決して望ましい変化ばかりではありませんでした。このような状況の中でも、私たちのくらしはこの社会の中で続いています。人々の安全・安心なくらしを支える機関の一つとして、パルシステムが存在することを実感しています。

これからの社会課題として、少子化・子育て問題はもとより、高齢者や障がい者の生活問題、生活困窮者に対する支援等も必要です。パルシステム千葉では、介護事業や障がい者雇用、フードバンク支援等により多岐にわたる社会課題へのアプローチを図っておりますが、人々の生活そのものや生活を送る中で直面する困難・生きづらさは多様化・複雑化しており、既存の社会サービスでは解決できない課題が多くあります。そこで、さらに踏み込んだ、きめ細やかな支援が提供できるよう、これまでの経験や福祉の視点を生かしていきたいと考えております。

厚生労働省は、誰もが役割を持てる地域共生社会の実現のため、重層的支援体制整備事業を設計しました。人と人とのつながりや参加の機会を生み育む多様な活動とおし、関係性が豊かなコミュニティを醸成し、社会変化に伴って生じる課題をその中で解決していこうという事業です。パルシステム千葉がめざす「総合福祉」の理念がまさにそれに当たると考えています。地域に根差した活動を継続することで、地域の人々、地域の機関等と連携が取れ、地域のニーズにも敏感になれるものと思っています。そのようなパルシステム千葉の今後の運営にさらに貢献できるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

理事として 4 期 8 年を経験し、障がい者施設での勤務経験や成年後見人の活動、社会福祉士として福祉に関わる方々の教育など、これまでの経験を生かし、福祉の視点を中心として業務執行のチェックや意見、助言をいただきました。特に高齢者や生活困窮者をめぐる地域課題、サービス付き高齢者向け住宅の運営への助言においては、県内の状況や業界の動きなどの情報も提供いただき、それらを踏まえ問題提起されました。今後も介護事業の運営改善や生協の社会的役割を踏まえた取り組みへの提案等に期待し、次期有識者理事候補として推薦いたします。

いのうえ あきら

井上 郷 (1957 年生まれ) 再任 (現職: 有識者理事)

住所: 千葉県市川市 職業: 税理士

略歴: 1988 年 税理士登録 (東京税理士会京橋支部) / 1991 年 東京税理士会京橋支部幹事 / 1996 年 井上郷税理士事務所開業、利根中流砂採取協同組合顧問税理士 / 2007 年 東京税理士会京橋支部副支部長 / 2015 年 公益財団法人中央区勤労者サービス公社監事 / 2017 年 社会福祉法人愛光監事 (現在に至る) / 2019 年 パルシステム千葉 有識者理事 (現在に至る)



抱負: 2024 年度はコロナだけでなくインフルエンザ等従来のウイルスの増加に、豪雨・猛暑による被害といったさまざまな自然災害に加え、終息が見えないウクライナ情勢や中東情勢、アメリカの新大統領による関税競争による国際状況の悪化・円安等の影響が組合員の皆さんの生活にも大きく押し掛かってきました。また米の価格高騰・不足だけでなく物価全般の上昇と品不足、人件費を含む経費全般の増加がパルシステム千葉の事業にも大きく影響しました。

これまでの 3 期 6 年の理事経験を踏まえ、引き続き税理士という立場から税務会計に関する知識・経験を生かして理事会に参画してまいります。課題としては先に述べましたように価格の高騰による費用の増大に対して事業の問題点の指摘や対策、会計上の対応策や問題点の数字化による効果とデメリットを示してまいります。

また、年末調整で行われる所得税減税など今後の税制改正に関する動向や情報だけでなく、公正取引委員会ならびに経済産業省による政策や調査に関する情報など、パルシステム千葉および組合員の皆さんを取り巻く税制・経済政策など、組織運営・生活に役立つ情報の提供と対応策の提示も行なってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

理事として 3 期 6 年を経験し、税理士としての経験、また公益財団法人や社会福祉法人等での監事経験を生かし、理事会では事業活動や政策全般において、法改正、会計・税務面を中心に意見や助言をいただきました。特に法改正への対応等、他企業での実例なども情報提供をされるとともに、専門的な事項については丁寧な説明をいただき、理事会での円滑な意思決定に寄与されています。引き続き、税理士としての専門的な会計・税務面、介護事業など経営が厳しい分野への意見にも期待し、次期有識者理事候補として推薦いたします。

い ま の り ょ う
今野 遼 (1985 年生まれ) 新任

住所：千葉県流山市 職業：弁護士

略歴：2010 年 弁護士登録（東京弁護士会）／2011 年 今野・高島法律事務所設立、千葉県弁護士会へ弁護士名簿登録替え



抱負：弁護士登録以降、身近な法律問題から企業経営・高齢者支援等のさまざまな分野に取り組むと同時に、青少年健全育成等の地域貢献活動にも力を入れてまいりました。また、私生活では幼少期から実家で生協を利用しており、現在は千葉県流山市で3子の親として日頃よりパルシステムにお世話になっております。

少子高齢化が進み、共働き世帯が増える現代社会において、日々の暮らしに不可欠ともいえるパルシステムの事業・活動に、このような形で関わらせていただけることを大変光栄に思います。

多種多様な選択肢がある昨今、魅力的な商品・サービスを提供することはもとより、組織のビジョンから運営体制に至るまで高い社会的信頼を確保することが重要だと考えます。弁護士として期待される法的役割にとどまらず、公共性の高い組織故に求められる社会的信頼の一層の向上に寄与できるよう、これまでの経験を生かし最大限尽力させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

弁護士としての知識・経験を有していることはもちろん、長年地域の課題解決の活動にも取り組まれており、また子育て世代でもあることから、生活協同組合の事業・活動への理解も持ちます。組織運営はコンプライアンス順守が重要であり、組合員・社会からの信頼の礎となると、法的な視点を持つ方の理事会参画は組織の意思決定や業務執行の透明性を高めるためにも有益であると考えます。パルシステム千葉の事業・活動や方針を理解したうえでの有益な助言等が期待されます。弁護士としての専門的な役割発揮に期待し、次期有識者理事候補として推薦いたします。

3. 地方区理事

【北部エリア】

4名

野田、柏、流山、我孫子、白井、印西、印旛郡、松戸、成田、香取、香取郡、銚子、旭、鎌ヶ谷、市川、浦安

い し い ま き
石井 眞紀 (1974 年生まれ) 再任 (現職：くらしの視点を持つ理事)

住所：千葉県柏市

略歴：2010 年 パルシステム千葉加入／2010 年 パルシステムのつどいサポーター／2011 年 パルシステム千葉 総代／2023 年 パルシステム千葉 理事（現在に至る）



抱負：理事に就任した当初から日々心に留めているのは『一期一会』です。組合員や生産者の皆さんとの1回1回の出会いを大切に、「今日は参加して良かった」とお互い思える場づくりを心がけてきました。

第17期任期中は、主にコミュニティ活動と環境問題を担当させていただきました。パルシステムでは『脱炭素社会』の実現に向けて、使用する電気を再生可能エネルギー由来のものにできるだけ切り替えることや、配送トラックのEV化の準備を進めています。地球温暖化というより地球沸騰化に近い深刻な状況となっており、近年の猛暑は農作物の生産に大きく影響し、海水温の上昇で沖縄のサンゴが大量に死滅し漁獲量にも影響が出ています。

また、パルシステムでは資源を循環させるためのさまざまな取り組みを行っています。カタログだけでなく、米袋やリユースビンの回収もしています。私自身、理事に就任してから学んだことも多くあり、組合員の皆さんにも伝える努力をしてきましたが、もっと広く知っていただき、組合員の皆さん一人ひとりの小さな行動が大きな力になるようにつなげるにはどうすればよいのかを日々模索しています。

組合員の皆さんの日頃の生活の中にある課題や気候変動、高齢化などで大変な生産者の状況など課題はいろいろありますが、くらしに寄り添う生協としてどのように解決に結びつけることができるかを『くらしの視点を持つ理事』として少しでも事業や活動に貢献していければと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

環境推進会議メンバーとして、環境の取り組みについて積極的に関係者間の情報共有等をさせていただきました。サポーター活動として、パルシステムのリサイクルセンターや洗瓶工場の視察を提案され、パルシステムのつどいにおいて発表する場を作るなど、環境の取り組みやサポーター活動の拡充に努めてられました。また、組合員一人ひとりとのお会いを大事にし、組合員の視点に立ち、充足感を高められるよう尽力されています。以上から、引き続き理事としての役割発揮に期待し推薦いたします。

さぎぬま えみこ

鷺沼 恵美子 (1965年生まれ) 再任 (現職: 暮らしの視点を持つ理事)

住所: 千葉県白井市

略歴: 1998年 生活協同組合エル (現パルシステム千葉) 加入 / 2003年 パルシステム千葉 総代 / 2022年 PLA(※) 15期生、環境サポーター、産直サポーター / 2023年 パルシステム千葉 理事 (現在に至る)

※ PLA活動: パルシステム・ライフアシスタントの略。パルシステムの理念や商品に関する情報を把握し、暮らしの視点に立って多くの組合員に商品の価値を伝える活動です。



抱負: 千葉に引っ越し、4人の子もたちとパルシステムの食べ物を食べ、産地交流やさまざまな学習会などに参加し、家族ぐるみでファンになりました。子育ての山を超えたところで、さらにパルシステムの活動を学んだり、活動に力を発揮できないかと考え、さまざまなサポーター活動に参加するようになりました。

はじめは受け身でしたが、組合員として意見を言っても良いこと、また、その組合員の声を受けとめ実現していく場がパルシステム千葉なのだとわかってきました。さらに一人では解決できない地域社会の課題をパルシステム千葉の一員として進めていきたいと強く思うようになりました。

第17期任期中、「くらしトーク・トーク」などでは、組合員、生産者との交流や職員との関わり、パルシステムに関わる理事や職員、他生協の方々、さまざまな団体の方々と触れ合う中で、お一人おひとりの言葉、お話をお聞きして先入観を持たずに受け止めること、話しやすい雰囲気を作ることを一番に心がけてきました。

さまざまな場でお会いする組合員の皆さんも魅力的でさまざまな考えを持っていらっしゃいます。皆さんの想いをすくい上げ、パルシステム千葉の運営に少しでも反映できるお手伝いがしたいと思っています。私自身の生活・子育て体験からくる実感を大切にしながら、未来につながるパルシステム千葉のために尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

福祉・たすけあい委員会メンバーとして、さまざまな地域課題について学びを深められており、パルシステム千葉として今後どう関わっていくのか、地域との連携や取り組みの展開について考えられています。「子どもたちに平和な未来を実行委員会」では、関係する方々との交流を図り、積極的な意見出しにつなげられています。また、参加者の満足度を高める企画を提案するとともに、運営にも尽力されました。以上から、引き続き理事としての役割発揮に期待し推薦いたします。

じんの かずえ

神野 和江 (1971年生まれ) 再任 (現職: 暮らしの視点を持つ理事)

住所: 千葉県市川市

略歴: 2002年 生活協同組合エル (現パルシステム千葉) 加入 / 2013年～2018年 パルシステム千葉 総代 / 2019年 パルシステム千葉 理事 (現在に至る) / 2023年 株式会社パル・ミート 取締役 (現在に至る)



抱負: 子どもの「食」のためにパルシステム千葉に加入し、「くらし課題解決」に対し立案された政策・方針に沿って事業や活動に取り組まれていることを知り、もっと関わりたいと地方区理事へ申出て、暮らしの視点を持つ理事となりました。

第17期任期中は、「商品・産直政策推進会議」・「役員評価・報酬委員会」、パルシステム連合会の「産直委員会」・「エコ・チャレンジ農産物基準改定検討委員会」のメンバーとして、また、パルシステム千葉の「理事会」・「くらしトーク・トーク」、そのほか学習会や産地・メーカーなどの視察・渉外等に出席し、暮らしの視点を持って意見や提案を述べ職務を遂行してきました。

これからの産直がめざすものとしてパルシステム千葉の「推し産直」アクションが誕生しました。パルシステムの「産直」は「生産者の顔が見える」関係です。利用する応援だけでなく、さらに一歩進んだ農畜水産業の取り組みや資材高騰によるコスト増など産直産地の情報を共有し、学び合い、気持ちが通じ合う組合員活動へ結びつける協同産直の取り組みを皆さんと共に進めていきたいと考えています。

パルシステム千葉の『心豊かなくらしと共生の社会を創ります』の理念の下、2030年ビジョン「つながる力とささえあいの心で笑顔あふれる地域コミュニティをつくります」の実現に向け、くらしの課題解決を組合員や多くの方々と協同しながら一人ひとりの豊かなくらしが実現されるように、これからのいろいろな事業や活動の輪と輪をつなげる役割となり、周りの声に耳を傾けながら検討・推進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

産直委員会メンバーとしてパルシステムの青果における「エコ・チャレンジ基準」の改定に向けて、産地の視察や学習会を通じて現状を学び、生産者の想い・組合員目線・双方向から意見出しを行い議論に参画されてきました。公開確認会や学習会等の各企画を通じてパルシステムの産直、商品の学びの場の提供にも尽力されました。また、組織運営を長期的、広角的に捉えられており、課題提起などの役割発揮や他の理事への声かけを通じてチーム力の向上に努められています。以上から、引き続き理事としての役割発揮に期待し推薦いたします。

みやもと あけみ

宮本 朱美 (1967 年生まれ) 再任 (現職: 暮らしの視点を持つ理事)

住所: 千葉県印旛郡

略歴: 2015 年 パルシステム千葉加入 / 2017 年 パルシステム千葉 総代、産直サポーター、センターサポーター / 2018 年 公開確認会監査人 / 2023 年 パルシステム千葉 理事 (現在に至る)

抱負: 第 17 期任期中は、「総代会準備会議」メンバーとして「総代会」をはじめ、「くらしトーク・トーク」や「総代限定企画」「パル de おしゃべり」などの開催に向けた協議に携わってきました。総代をはじめとする組合員の声を集め、皆で作られていることを一人ひとりが実感できるよう努めてきました。

また、組合員の声を反映させた商品づくり「ほしいをカタチにプロジェクト」の担当として 1 年目は新規開発商品、2 年目はリニューアル商品を扱い、「より良い商品を作りたい」組合員メンバー、「組合員の声に応えたい・実現させたい」メーカー、そして両者をつなぐパルシステムの三者で協議し、丁寧な話し合いを重ね商品化を実現しました。

千葉県生協連の「地域・まちづくり委員会」では、県内生協や千葉市社会福祉協議会の方々と情報交換をしながら、地域を意識した活動・支援やその目的、新たな関係づくりを学び地域課題を考えました。

気候変動による地球環境は刻々と変化し、私たちの想像を遥かに超えた方向へと世の中が舵を切っているようにも見え、持続可能という言葉のハードルが高くなっているように感じています。しかし委縮するのではなく、次世代に希望を持ってパトンをつなぐことができるよう模索しながら、自分事として捉え、柔軟に時には大胆にくらしの課題解決に取り組んでいきたいと考えております。

パルシステム千葉を支えているお一人おひとりと共に考え、「つながる力とささえあいの心で笑顔あふれる地域コミュニティをつくります」のビジョンの実現に向け、一人ひとりが幸せを日々実感できる社会をめざし、これからのパルシステム千葉の事業・活動につなげる一翼を担っていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

組合員商品開発担当者会議の担当理事として、活動の意義やパルシステム連合会と各会員生協の役割、運営方法などについて明確な課題認識をもって携わり、商品開発にあたってはメンバーと有意義な意見交換となるよう努めてこられました。地域・まちづくり委員会では千葉県が抱える課題や地域づくりの事例を学ぶとともに、県内生協および学生ボランティアや産地等、地域の人・組織との関係づくりに尽力されてきました。以上から、引き続き理事としての役割発揮に期待し推薦いたします。

【南部エリア】

4名

船橋、八千代、千葉市稲毛区、千葉市花見川区、千葉市若葉区、千葉市中央区、千葉市美浜区、千葉市緑区、習志野、佐倉、四街道、八街、茂原、市原、袖ヶ浦、木更津、富津、君津、南房総、鴨川、館山、勝浦、安房郡鋸南町、山武、山武郡、東金、長生郡、いすみ、大網白里、夷隅郡、匝瑳、富里

きた

北 きよみ (1960 年生まれ) 再任 (現職: 暮らしの視点を持つ理事)

住所: 千葉県船橋市

略歴: 1999 年 生活協同組合エル (現パルシステム千葉) 加入 / 2013 年 パルシステム千葉 総代 / 2021 年 パルシステム千葉 第 16 期地方区理事推薦委員会委員 / 2023 年 パルシステム千葉 理事 (現在に至る)

抱負: 理事になり、2 年間で多くの組合員や生産者の方々と交流する機会がありました。戦争や気候変動による自然災害などの影響で生活に必要な燃料や食料が手に入らない中、パルシステムは生産者をつなぐ産直で長年培ってきた相互信頼のもと、途切れることなく食料を届けることができています。その中でも、パルシステム千葉は県内に産地があるため交流を通じて生産者の苦勞や困難を目にし耳にすることができました。

また、理事としてパルシステムの助成金にかかわる活動をさせていただき、全国のさまざまな団体の取り組みや連携、地域を盛り上げる活動と広がりを知ることができました。

生活者として、くらしにくい社会情勢ですが、今年は国連が「国際協同組合年」と定めたように、協同して作る人、食べる人皆が共に助け合うという目的を共有し、生活協同組合としてのパルシステムができることを考え、手助けできればと思います。

なかでも地域のつながりに対してパルシステム千葉ができることは、人と人をつなげることだと思っています。その実践に向けてしっかり取り組んでいきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

パルシステムの地域づくり基金・ささえあい基金の運営委員として、助成団体の選定にあたって、公平・適切な評価となるよう努められました。千葉県生協連やその他団体とも女性交流会実行委員会を通じて関係性を構築されてきました。また、組合員活動における現状の課題認識と今後のあり方について、多面的な視点で発言され、より良い組合員活動となるよう進められています。以上から、引き続き理事としての役割発揮に期待し推薦いたします。



きたむら あやの
北村 理乃 (1982年生まれ) 新任

住所：千葉県市原市

略歴：2019年 パルシステム千葉加入／2019年 センターサポーター／2021年 PLA（※）（現在に至る）／2022年 パルシステム千葉 総代（現在に至る）

※ PLA 活動：パルシステム・ライフアシスタントの略。パルシステムの理念や商品に関する情報を把握し、くらしの視点に立って多くの組合員に商品の価値を伝える活動です。



抱負：皆さんと共に、より健康的に明るく生きる未来に向かって歩んでいきたいと思っております。

私がパルシステムに入ったきっかけは子どもたちの「食の安全」を考えるようになったことです。毎日体に入れるものが安全・安心であってほしいという想いから、「商品のことをもっと知りたい」とパルシステムのつどいに参加するうちに、パルシステムの魅力を知ることになり、他の活動にも参加させていただくようになりました。

センターサポーター活動・PLA 活動・総代活動をさせていただく中で、パルシステムの商品のこだわりや産地とのつながり、そして人と人とのつながりを体感させていただく機会をいただきました。商品や産地を知るほどに、その安全や安心へのこだわりは人の想いが重なり合うことで成り立っていると感じるようになりました。産直交流に参加した際にはお互いの顔が見える関係で、産地の苦勞を直接伺ったり、組合員としての疑問や想いをお伝えできる関係であることに喜びを感じました。

「くらしトーク・トーク」ではお一人おひとりの想いや困りごとなどに一つひとつ耳を傾け解決策を考え、改善に向けて変化することを目の当たりにしてきました。このようなことから、より健康的な未来に向かって歩むための試行錯誤を一丸となって実践していく想いと体制がパルシステム千葉にはあると感じています。そしてその試行錯誤と一緒に実践していく一員になれば嬉しいと思っております。

人・動植物・環境にとってより良い未来に向かって変化していくことを皆さんと楽しみながら推し進め、組合員お一人おひとりの想いに貢献していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

食の安全を考えるようになりパルシステム千葉へ加入し、パルシステムのつどいに参加するうちに魅力を知り、さまざまな活動に参加してきました。センターサポーターの経験があり、PLA 活動ではパルシステムのつどいで講師も担われてきました。今後は、より健康的な未来に向かって歩むための試行錯誤を理事として一緒に行っていきたい、また人と人とのつながりが大切であると捉え、組合員一人ひとりの想いに貢献していきたいという気持ちをお持ちです。以上から、理事候補として適任であると捉え、推薦いたします。

たかさき まいこ
高崎 麻衣子 (1979年生まれ) 再任 (現職：くらしの視点を持つ理事)

住所：千葉県千葉市

略歴：2009年 パルシステム千葉加入／2017年 パルシステム千葉 総代／2018年 パルママサポーター／2021年 センターサポーター／2023年 パルシステム千葉 理事（現在に至る）



抱負：子どもが小さい頃に加入したということもあり、私にとってパルシステムは安全・安心な食材を届けてくれるだけでなく、子育てをするうえでも、なくてはならない存在でした。サポーター・総代・理事として関わる中でさまざまな活動や学習会に参加し、パルシステム千葉の理念である「心豊かなくらしと共生の社会を創ります」の実現に向けて、食と農の取り組み、環境への取り組み、くらしの課題解決への取り組みなど、さまざまな取り組みが行われていることがわかり、理念に共感し、さらにパルシステムが好きになりました。

第17期任期中は、「総代会準備会議」のメンバーとして総代活動の充実に向けて「総代オリエンテーション」や「くらしトーク・トーク」などの運営に携ってきました。総代・組合員の皆さんからの声を大切に、より良い事業・活動が推進できるよう努めてまいりました。

くらしを取り巻く環境は大きく変化し、くらしの課題解決に向けてパルシステム千葉としてできることは何か、組合員・生産者・地域の皆さんと共に考え、これからの事業・活動につなげていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

総代会準備会議メンバーとして、「くらしトーク・トーク」では総代だけでなく幅広い年代の組合員の声を大切に考え、さまざまな意見を出し合える運営を心がけてこられました。総代会の運営においては、総代の視点に立ち、より充足感・納得感を高められるように尽力されてきました。また、産地訪問や各種学習会などに積極的に参加し、生協の事業、活動への理解や知識を深め、意欲的に理事の役割に引き合われています。以上から、引き続き理事としての役割発揮に期待し推薦いたします。

なかむら まき

中村 真紀 (1974年生まれ) 再任 (現職: 暮らしの視点を持つ理事)

住所: 千葉県山武市

略歴: 2009年 パルシステム千葉加入 / 2011年「子どもと一步の会」設立 / 2012年「子どもと一步の会」を自主的活動グループ登録 / 2015～2017年 パルシステム千葉 総代 / 2017年 サポーター (地域行事) / 2019年 パルシステム千葉 理事 (現在に至る) / 2023年 株式会社パルふれあいサービス 取締役 (現在に至る)



抱負: 私はパルシステムが大好きです。その気持ちは理事になる前も3期6年経った今でも変わりません。

第17期任期中は、主に「パルシステム生産者・消費者協議会」の担当として多くの産地に伺い、たくさんの生産者と交流し、日本の農畜産業の現状や課題を学ばせていただきました。そして、そのような現状を組織や組合員の皆さんにお伝えし、また、逆に生活者としての声も生産者の皆さんやパルシステムに届けています。

農畜産業の現状を学ばせていただいても私個人では何もできません。食の問題だけではなく、気候変動の危機や貧困・紛争など解決できないことが数多くあります。そんな個人では何もできない私でもパルシステム千葉の理事として、またこの国にくらす大人として、一步でも課題解決に向けて歩みを進められることに喜びを感じています。

理事の任期も後半戦に入りました。今まで学ばせていただいたことを生かし、今期も元気いっぱい、パルシステム千葉の理念「心豊かな暮らしと共生の社会を創ります」と2030年ビジョン「つながる力とささえあいの心で笑顔あふれる地域コミュニティをつくります」の実現のため、引き続き貢献してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

生産者消費者協議会の幹事として、生産者との交流や学習会をとおして、商品や産直の価値を伝えるとともに利用につなげることを考え、事業と活動の一体化を意識し推進されてきました。商品・産直政策推進会議メンバーとして、今後の産直のあり方を検討し、生産者・組合員・職員と一緒に取り組んでいく「援農」(※)についても考えてこられました。また、理事同士でしっかり意見交換ができるよう雰囲気づくりに努められています。以上から、引き続き理事としての役割発揮に期待し推薦いたします。

※援農: 組合員・職員が生産現場の作業支援を通じて、生産者や生産現場の取り組み・課題について理解を深める取り組みです。

4. 全体区監事

5名

いのまた ちふみ

猪股 千文 (1958年生まれ) 再任 (現職: 監事)

住所: 千葉県我孫子市

略歴: 2000年 生活協同組合エル (現パルシステム千葉) 加入、松戸・鎌ヶ谷行政区委員 / 2001年 我孫子行政区委員 / 2005年 印西センター地域コーディネーター / 2007年 サポーター / 2009年 パルシステム千葉 理事 / 2019年 パルシステム千葉 理事退任 / 2023年 パルシステム千葉 監事 (現在に至る)



抱負: 監事として1期2年が経過し、この間理事会等重要会議への出席、事業・活動に関する資料の点検、監事会での情報交換などにより監査を行いました。内部統制が整備・運用され、組織内に浸透してきた状況も確認しました。

この2年は、少子高齢化による人手不足や世界各地での紛争の影響による物価高騰、地震や地球温暖化による異常気象や災害の多発、それらによる食料不足への不安と、私たちの暮らしに次々と問題が押し寄せてきました。

生協も迅速にこれらの問題に対応することが求められましたが、国連は2025年を「国際協同組合年」と定め、「協同組合はより良い世界を築きます」というテーマを掲げて、協同組合へ期待を寄せています。

今後も、組合員監事として、パルシステム千葉の事業・活動の持続的な発展のために、引き続き力を尽くす所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

パルシステム千葉の組合員活動に長く関わり、理事としては10年の経験があり、事業活動全般に詳しい人材です。監事1期目は監事監査研修や交流会などに積極的に参加し知識、技術を習得し自身のレベルアップを図り、監査の質向上に努めていただきました。組合員視点を大切に業務監査の充実にも尽力されました。これまでの経験と組合員監事としての1期2年の実績を踏まえ、次期監事候補として推薦いたします。

えじり やすよ 江尻 康代 (1971 年生まれ) 新任

住所：千葉県船橋市

略歴：2007 年 パルシステム千葉加入／2011 年 パルシステム千葉 総代、サポーター（商品開発）／2012 年～2013 年 サポーター（開発商品販促）／2015 年 パルシステム千葉 理事／2023 年 パルシステム千葉 理事退任



抱負：2023 年までの理事活動をとおり、組合員・地域・日本、そして世界のさまざまな課題を見てきました。年々新たな課題が生まれ山積みされていく状況の中、パルシステム千葉の組合員・役職員・生産者・協力会社と共に組合員のくらしの視点に立ち、地道に少しずつ課題解決につながるよう活動してまいりました。

現在、さらに混沌とする日本・世界情勢を前に、組合員をはじめパルシステムに関わる多様な人々の力をつなぎ、より多くの課題が解決されることが今まで以上に期待されています。パルシステム千葉の理念「心豊かなくらしと共生の社会を創ります」が広く組合員にいきなり、その組合員の意思決定事項が組織・事業に反映され、くらし課題が解決される循環は生活協同組合の根幹です。その循環が正常に機能するよう監査活動を行い、役割を果たしていきたいと思ひます。

組合員の視点を大切に、真面目に誠実に監査活動に努めてまいりたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

パルシステム千葉の組合員として総代やサポーター活動などに携わり、また理事としての経験もあり、組合員活動や組織運営に詳しい人材です。理事就任中には商品やコミュニティ政策関連の活動に尽力され、生協活動の根幹を支える会議体のメンバーとして活躍いただき、組合員参加を広げていただきました。理事経験者および組合員の視点を大切に業務監査の充実を期待し、次期監事候補として推薦いたします。

かど ゆうじ 加戸 祐爾 (1957 年生まれ) 再任(現職：監事)

住所：千葉県習志野市

略歴：1982 年 千葉県庁 主として企画関連・商工行政関連部署を歴任（旧通商産業省出向、米国東京銀行シカゴ支店、千葉県シンガポール事務所、JICA ブータン事務所）／2007 年 株式会社ジイシイ企画（管理総務部長：人事・労務管理・ISO 担当）、現シニアアドバイザー／2008 年 日本機械輸出組合／2010 年 在欧日経ビジネス協議会（ベルギー・ブリュッセル：経済産業省系外郭団体）／2013 年 東京大学大学院新領域創成科学研究科・フューチャーセンター推進機構（特任研究員）／2019 年 パルシステム千葉 監事（現在に至る）



抱負：監事就任以来、日本の姿は大きな変貌を遂げております。特に人口構造の変化により、本年は所謂「2025 年問題」、約 800 万人いる全ての「団塊の世代」が後期高齢者となり、国民の 5 人に 1 人が後期高齢者という超高齢化社会を迎えます。加えて異常気象の深刻化、国際紛争の勃発、インフレの進行、深刻な人材不足と人件費の上昇、コロナや鳥インフルエンザなどの感染症の蔓延、脱炭素の動き、AI の現場への浸透等、これまでの想定を覆す事象が次々と発生しており、人々のくらし、企業活動等の対応・舵取りも大変難しい状況に陥っており、生協の事業や運動も多大な影響を被っています。

このような状況下、これまでの国・県の行政、中小企業の管理運営、外国政府などとの交渉、海外ビジネス活動等、さまざまな地域・分野での経験・知見、培った人的ネットワークを活用するとともに、前代未聞の事象発生も見据えた視点を通じて、事業活動の適切性・健全性の確保、持続的な発展、企業統治（コーポレート・ガバナンス）の確立をめざしてまいりたいと思っております。

今後ますます発展が期待されるパルシステム千葉において、食・農・環境・福祉等の分野で組合員の負託に応える監事監査業務を基軸として、今後の事業展開と多様性のある持続可能なコミュニティづくりに貢献できるよう、微力ながら尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

千葉県庁や経済産業省（出向）等の行政関係や企業等、生協外の組織における幅広い経験があります。県庁では企画関連や商工行政関連部署での業務を通じて千葉県総合計画策定や長野冬季オリンピックの公式ボランティア通訳、また海外勤務（シカゴ・シンガポール・ブータン・ブリュッセルなど）の経験もおありです。これまでの豊富な経験と有識者監事としての 3 期 6 年の実績を踏まえ、次期監事候補として推薦いたします。

しばさき きくえ

柴崎 菊恵 (1974 年生まれ) 再任 (現職: 監事)

住所: 東京都文京区

略歴: 2003 年 検事任官 (～ 2005 年) / 2005 年 弁護士登録 (東京弁護士会) / 2013 年 東京双葉法律事務所開設 / 2014 年 学校法人明星学苑評議員 (～ 2025 年 5 月) / 2017 年 学校法人明星学苑理事 (現在に至る) / 2021 年 パルシステム千葉 監事 (現在に至る) / 2024 年 ベルフラワー法律事務所開設

抱負: 2021 年に監事に就任いたしました。理事会への出席、監事会での意見交換・情報共有、決裁書類等の重要書類の閲覧、理事・部門長へのヒアリングなどにより監査を行ってまいりました。弁護士資格を有する監事として、特に、パルシステム千葉の事業活動が適法に行われているか、定款・法規に接触する可能性が見受けられないかという点に注力して確認してまいりました。

コロナ禍以降、少子高齢化が深刻化し、人材の確保のため、在宅勤務、産後パパ育児休暇、副業・兼業の促進など働き方の多様化・見直しが進むとともに、経営や組織体系の改善のため、AI などを用いたデジタル化が進んでおります。パルシステム千葉においても、今後も事業と活動を一体化した運営を行うため、将来に向けた人材育成および雇用定着の対策が推進されております。

パルシステム千葉には、組合員の皆さんや地域と連携・協働しながら、食・農・環境・平和・福祉の事業や活動を通じてくらしの課題を解決していく役割が求められています。今後も組合員の皆さんに安全・安心な食材とサービスをお届けするとともに、上記役割を積極的に担っていく組織で在り続けるため、引き続き監査してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

弁護士資格を所持する有識者監事として、客観的な視点から当組合の監事体制の独立性および中立性を高めることのできる人材です。監査に必要な情報の入手に心がけ、他の監事と協力して監査の環境整備に努め、当組合の事業活動が適切に行われているかという観点から確認いただき、監査意見の表明につなげていただいています。有識者監事としての 2 期 4 年の実績を踏まえ、次期監事候補として推薦いたします。



もりもと しゅういち

森本 修一 (1965 年生まれ) 新任

住所: 千葉県柏市

略歴: 1989 年 柏・市民生活協同組合 入協 / 2002 年 生活協同組合エル (現パルシステム千葉) 財務経理グループマネージャー / 2004 年 危機管理グループマネージャー / 2005 年 財務経理部部長代理 / 2008 年 財務経理部部長 / 2014 年 パルシステム共済生活協同組合連合会 管理部経理・総務課長 (出向) / 2015 年 パルシステム共済生活協同組合連合会 移籍 / 2021 年 パルシステム共済生活協同組合連合会 管理部部長 / 2025 年 パルシステム共済生活協同組合連合会 常務理事付部長 (現在に至る)

抱負: 1989 年に当時の柏・市民生活協同組合へ入協し地域担当として配達・拡大・組合員活動などの業務を約 8 年間行いました。その後、事業部での業務を経て 2001 年より経理担当業務に従事し、24 年間にわたり、管理部門の職務を行ってまいりました。管理部門の担当として、パルシステム千葉とパルシステム共済生活協同組合連合会の 2 つの組織にて業務に従事し、その中で組織の合併や子会社設立など、大きな改変を経験することができました。

今回、監事という重責を担うにあたり、これまで長きにわたり管理部門の業務を行ってきた中で、さまざまな監査や調査を受けるとともに、業務上のリスクが発生する要因などに接してきた経験を生かしてまいります。また、培ってきた財務面での知識を活用し、財務的な目線から健全な組織運営を行えるよう職務を全うしてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

1989 年、旧柏・市民生活協同組合へ入協し、配達、拡大、組合員活動、事業部などの業務を経験し生協の基礎を培い、2001 年より経理担当業務に従事し部門の責任者を担われました。2014 年からパルシステム共済生活協同組合連合会にて経理・総務を経て管理部門の責任者としての役割を担われてきました。業務全般に精通しているとともに生協法の知識も深く、またリスク対応の経験や財務面での知識も豊富です。これまでの経験および実績を踏まえ、次期監事候補として推薦いたします。



補足資料

1. 役員の役割について

役員候補者名簿を作成するにあたり、役員の区分ごとの選定は以下の考え方に基づいて行いました。

- (1) 全体区理事は生協運営全体の観点から選定し、以下の役割を担います。
 - ① 理事（運営担当）は、くらしの視点を持ち、業務執行を監督するとともに理事長を補佐して、機関運営に関する役割を担います。
 - ② 理事（業務執行）は、総代会で承認された方針に基づき、生協の業務を執行する役割を担います。
 - ③ 理事（有識者）は、法律・会計・福祉などの専門性を有し、政策立案に当たり専門性を活かした助言を行います。
- (2) 地方区理事は理事会において定める区域ごとに、くらしの視点を持ち、業務執行を監督する役割を担います。
- (3) 全ての理事は、生協法や定款・諸規程を遵守します。理事として重要事項を理事会で意思決定し、管理・監督する役割を担い、組合員からの負託に応えます。
- (4) 監事は定款第 35 条に定める職務と権限において、理事の職務の執行状況を監査し、財産の状況を調査する役割を担います。

役員候補者名簿に掲載された方々は、以上の考え方について、その条件を十分満たすと判断しました。

2. 選任の経過（定数・諸規程に基づき進めました）

- (1) 2025 年 1 月理事会ならびに 3 月理事会にて、第 18 期役員定数および選任区を下記のとおり決定しました。

- ① 全体区理事 10人
- ② 地方区理事 8人（北部エリア3～5人、南部エリア3～5人）
- ③ 監事（全体区） 5人

(2) 地方区理事の選任の経過

- ① 役員選任規約第 6 条に基づき、地方区理事推薦委員会について以下のとおり委員を決定しました。
 - (ア) 総代からの委員は、2025 年 1 月 6 日から 17 日の期間に公募をしたところ 6 人の応募があり、1 月 30 日付で理事長が指名しました。
 - (イ) 理事会からの推薦委員 2 人は 2025 年 1 月理事会にて選任しました。
 - (ウ) 理事経験者からの推薦委員 1 人は 2025 年 1 月 30 日付で理事長が指名しました。
 - (エ) 地方区理事推薦委員会メンバー

総 代：荒井 真由美さん、助川 純子さん、野口 茂代さん、三ッ橋 淑子さん、
茂木 美智子さん、本吉 みどりさん

理事経験者：佐藤 尚子さん

理 事：仲野 智美、山本 香美
- ② 2025 年 2 月 10 日から 2 月 17 日の期間に地方区理事の申出について公募したところ、北部エリアより 4 人、南部エリアより 5 人の申出がありました。
- ③ 地方区理事推薦委員会を 3 月 13 日、3 月 25 日、3 月 31 日の 3 回開催し、候補者について、定款・規約および地方区理事推薦委員会運営規則に基づき選考を行い、地方区理事候補者 8 人を決定し、理事長へ報告しました。
- ④ 4 月 16 日開催の役員人事委員会にて、地方区理事推薦委員会の報告を受けた地方区理事候補者案を決定しました。
- ⑤ ④を受けて、理事長は 2025 年 4 月理事会にて総代会に付議する地方区理事候補 8 人を提案し、決定しました。

(3) 全体区理事および監事の選任の経過

- ① 役員選任規約第 5 条に基づき、2023 年 6 月に開催した第 1 回理事会にて、役員人事委員会の委員として理事 5 人を選任しました。
- ② 2025 年 4 月 16 日に開催した役員人事委員会にて、全体区理事候補および監事候補を決定し、理事長へ報告しました。
- ③ ②の報告を受けて、理事長は監事候補についてすみやかに特定監事に通知しました。特定監事はこの通知を受けて 4 月 23 日開催の監事会にて審議し、監事全員の同意を得たので、理事長に通知しました。
- ④ 役員人事委員会の報告ならびに特定監事からの通知を受けて、理事長は 4 月 23 日開催の理事会にて総代会に付議する全体区理事候補 10 人および監事候補 5 人を決定しました。

以上

生活協同組合 パルシステム千葉

千葉県船橋市本町2-1-1 船橋スクエア21 (4階)

TEL 047(420)2600 FAX 047(420)2400

<https://www.palsystem-chiba.coop/>

